

北見工業大学入試の区分・情報

入学試験一覧

試験の区分	入試科目等
総合型選抜	基礎学力確認試験、個人面接
学校推薦型選抜	基礎学力確認試験、個人面接
前期日程試験	個別学力検査は課さない
後期日程試験	数学、理科

詳しい
入試情報に
ついてはコチラ



募集人員

学科・コース名	募集人員					
	一般選抜		総合型選抜			学校推薦型 選抜
	前期日程	後期日程	コース確定枠	第一次産業振興枠	冬季スポーツ枠	
地球環境 工学科	69人	60人	32人 各コースの 定員4人	3人 [地域マネジメント 工学コース に配属]	4人 [地域マネジメント 工学コース に配属]	44人
環境防災工学コース						
先端材料物質工学コース						
地域未来 デザイン 工学科	78人	69人	32人 定員4人のうち 「一般枠」2人 定員4人のうち 「女子特別枠」2人	3人 [地域マネジメント 工学コース に配属]	4人 [地域マネジメント 工学コース に配属]	51人
地域マネジメント工学コース						
機械知能・生体工学コース						
情報デザイン・コミュニケーション工学コース						
工学部合計	147人	129人	32人	3人	4人	95人

※コース確定枠「一般枠」は性別によらず出願できます。なお、「女子特別枠」の志願者は、「一般枠」との併願を可能とします。
※総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

総合型選抜入試概要

選抜方法

基礎学力確認試験	調査書
面接	学修計画書
競技成績申告書 (冬季スポーツ枠のみ)	

各項目を
総合的に
判断

いずれの枠でも「高校生活や学修計画書の内容を自分の言葉で分かりやすく説明できること」を評価します。

※各枠の選抜内容の詳細は、受験する年度の入学者選抜要項を確認してください

拡大する大学の意義と、多面的な学習意欲に対応する

総合型選抜

Course Definite Quota

コース確定枠
一般枠
女子特別枠



Primary Industry Development Quota

第一次産業振興枠



Winter sports Quota

冬季スポーツ枠



入学から卒業まで

～コース配属から研究室配属～

コース配属

1年次末

コースを選ぶまでの1年は、大学が催すコース配属説明会などに参加することで、じっくりとやりたいことを見定めることができます。そして1年次末に進みたいコースを選択します。地域マネジメント工学コースの学生は、基盤コースとして他7つのコースから一つのコースを選択します。

絞るのではなく、
広がる
コース選択

研究室選択

3年次末

コース配属以降からの専門的学習を踏まえて、研究室紹介や先輩・担当教員との面談等で自分が本当に進みたい研究室を選択します。

卒論や
就職・進学までを
見据えた
研究室選択

1年次

地球環境工学科
地域未来デザイン工学科

2年次

■エネルギー総合工学コース ■環境防災工学コース
■先端材料物質工学コース
■機械知能・生体工学コース ■情報デザイン・コミュニケーション工学コース
■社会インフラ工学コース ■バイオ食品工学コース
地域マネジメント工学コース

3年次

4年次

入学時

総合型選抜で入学した学生は、配属するコースが確定していることから1年次の基礎教育科目を集中して学ぶことができます。

4年次末

卒業後の進路

大学院に進んでさらに力をつけるのがお勧めです。もちろん地元企業との連携を活かした就職、身につけた知識・技術を武器に有名企業での活躍もあなた次第です。

北見工業大学の総合型選抜とは

工学の技術を活かして社会に貢献しようとする人材を育成します。

基礎学力確認試験により、高等学校等での基礎的な数学や理科の知識の達成度を評価します。調査書等の出願書類と面接から得られる志望動機、修学上の目標、将来設計、意欲、協調性、適正等により、工学に必要な幅広い確かな基礎学力や様々な課題を主体的に解決するために必要な思考力・判断力・コミュニケーション力、得意分野に対する関心・意欲・能力等を多面的・総合的に評価します。また、地域マネジメント工学コース確定枠では、上記の能力に加え、企業経営や組織運営、工学を含む学際領域に対する関心・意欲などを文系・理系を問わず評価します。

コース確定枠



現代社会では幅広い知識とより深い専門知識や技術を持った人材が必要不可欠。学びたい工学分野が決定している方を対象とし、入学時からコースを確定することで工学者・技術者として活躍する人材を育てます。

第一次産業振興枠



農業・林業・水産業など第一次産業に関わる様々な課題を、工学の技術とそれらを管理するマネジメント(経営・管理)の視点で解決し、分野の活性化や地域の発展を担う人材を育てます。

冬季スポーツ枠



冬季スポーツは、積雪寒冷地での健康維持・増進、地域活性化など新たな産業創出にも期待が寄せられています。工学の技術により、自身の競技能力を高め、選手育成、研究・開発などで活躍する人材を育てます。

※冬季スポーツとは、カーリング及びアルペンスキーを指します

総合型選抜 コース確定枠に 女子特別枠

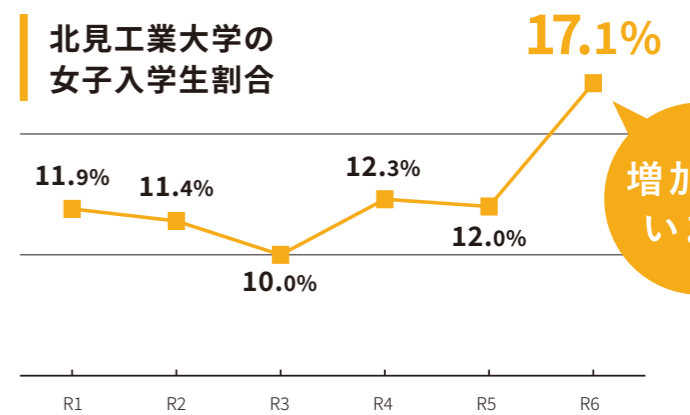
あつまれリカジョ! 理科好き女子!



北見工業大学では、令和6(2024)年度入学者選抜(令和5年度実施)から、総合型選抜コース確定枠において、女子を対象とする「女子特別枠」および性別によらず出願できる「一般枠」を8コース全てに設定しました。各コースの募集人員は4人とし、うち2人は女子を対象とする「女子特別枠」、うち2人は性別によらず出願できる「一般枠」とします。なお、女子特別枠の志願者は、希望により一般枠との併願を可能としています。

日本のものづくり技術や産業技術は、かつては世界をリードしていましたが、現在は停滞している状況です。しかし、日本の技術力はこれからも国際社会において重要な役割を果たしていく必要があります。そのためには従来の枠にとらわれない、多様で柔軟な発想が必要です。このような背景から、近年女性の活躍を推進する企業が増えており、社会的に理工系女子学生育成の要請が高まっていますが、日本の工学部における女子学生比率は16%と依然として低く、欧米諸国と比べてもかなり低い水準となっています。女子学生が持つ既存の枠にとらわれない柔軟な思考力、新たな価値を創造する発想力を活かし、多様性のある学習環境の中で学生生活を過ごし、新たなイノベーションを創出されることを期待しています。

北見工業大学の 女子入学生割合



増加しています

こんな人におすすめ

- ものづくりの基盤となる理科が好きの人
- 学びたい工学分野が定まっている人
- 人の役に立つことが好きな人
- 積極性や柔軟な思考力を持っている人
- 新たな物事へ積極果敢に挑戦する人
- リーダーシップを発揮することが得意な人

コース確定枠

工学の専門性を深め、工学の技術を通じて社会貢献を目指す人を募集します。現代社会では幅広い知識を身につけた人材が期待されると同時に、より深い専門知識を持った人材も必要不可欠です。また工学の専門知識だけでなくそれら知識を活かし工学の技術を社会で実装する人材も求められています。

地球環境工学科では、地球環境問題など日本のみならず世界的な課題を解決できる人材を育成します。

地域未来デザイン工学科では、世界・日本を構成する地域をデザインする力、地域の課題を見出す力、課題解決能力、そして課題解決に取り組む主体的な姿勢などを合わせ持つ人材を育成します。

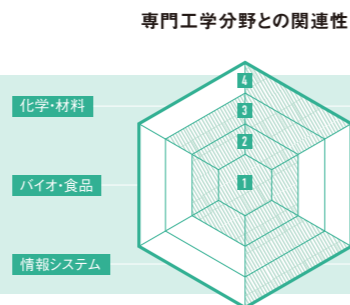
これら2学科には工学・技術の専門性を深めるために合わせて8つの専門コースがあります。「これを深めて学びたい!」という工学の専門分野が定まっているあなたを、社会の課題解決や持続可能な社会の創出などを通じて社会で活躍する工学者・技術者として育てます。

8つのコースがあなたのやりたい!を叶えます

エネルギー総合工学コース

地球環境工学科

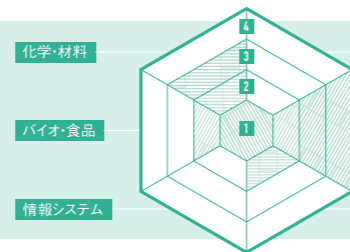
ガスハイドレート、再生可能エネルギー、地域分散型エネルギーシステムおよび省エネルギーシステムの構築等を想定し、機械系、電気電子系、化学系などの分野に密接に関連するエネルギー工学について総合的に学びます。



環境防災工学コース

地球環境工学科

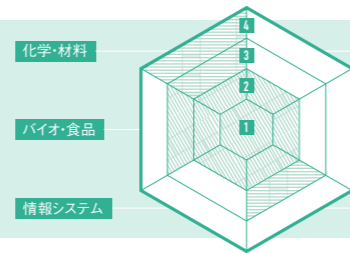
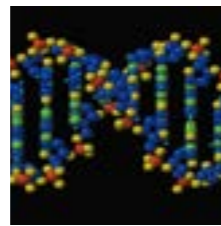
環境防災工学コースのカリキュラムは、地球環境、寒冷地の自然、環境工学および防災工学に関する基礎科目や応用科目などから構成されており、将来、環境工学や防災工学の分野で活躍できる人材を養成します。



先端材料物質工学コース

地球環境工学科

地球環境問題の解決に役立つ材料・技術開発は、人類に求められる最重要課題です。それに必要な基礎・応用科学を学び、省エネルギー・環境保全材料、環境に優しい合成プロセス開発の知識・実験技術を習得できます。



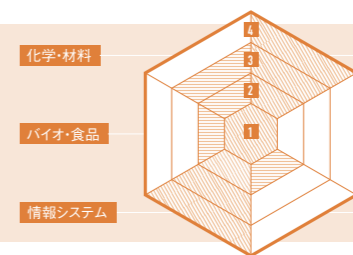
機械知能・生体工学コース

地域未来デザイン工学科

機械工学の基盤となる力学に加え、制御工学、医療工学、ロボット工学などの応用科目を開講し、地域や社会が抱える課題を発見し解決できる能力を養成して、広い専門的視野と応用力を持った技術者を育成します。



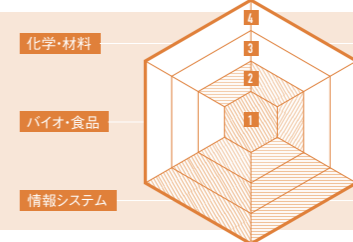
専門工学分野との関連性



情報デザイン・コミュニケーション工学コース

地域未来デザイン工学科

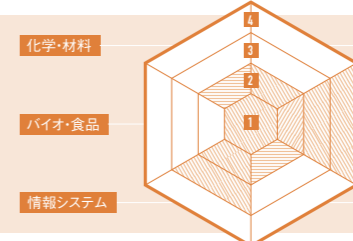
ソフトウェア・ハードウェアの原理・基礎を重視して情報通信技術に関わる技術者を養成します。Pythonを用いて、実践的なプログラミング能力を磨きます。情報を蓄積したり、伝えたりするための技術も身につきます。



社会インフラ工学コース

地域未来デザイン工学科

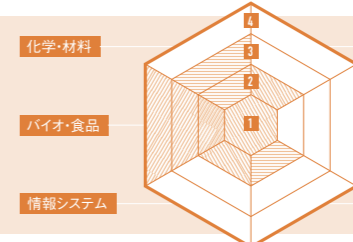
近未来の少子高齢化社会に向けた「寒冷地地域のライフライン」、「高度情報通信社会」、「地域に適合したインフラ設備」等、地域の未来を創造する社会インフラの設計・構築・維持・管理に携わる専門技術者を養成します。



バイオ食品工学コース

地域未来デザイン工学科

オホーツク地域に特徴的な素材の利用法や、地域産業における課題を、化学を基盤とするバイオテクノロジーおよび食品工学を駆使して解決し、人間性と社会性を備えた技術者として活躍できる能力を養成するコースです。



地域マネジメント工学コース

地球環境工学科

工学の専門コースを基盤とし、しっかりと工学や技術の知識に加え、会社やプロジェクトなどを企画し立ち上げる力、それらを管理・運営していく力を養います。工学とマネジメントの双方に強い技術者・研究者・企業家・経営者など、様々な場面で「工学の実用価値を実現しながら社会をリードしていく人材」を育成します。



7つのコースから工学の専門能力を高めた基盤コースを考え学科を選択します。

※地域マネジメント工学コースでは、所属する学科のコース(本コースは除く)の中から「基盤コース」として1つのコースを選択し、その専門能力を身につけながら、マネジメントに関する知識を養います。

北見工業大学での学び

出願

8つのコースの中から、自身が深く工学の専門能力を身に付けたいと考えるコースを選択します。地域マネジメント工学コースを希望する場合には、他の7つのコースから工学の専門能力を高めたコースを考えて学科を選択します。

合格・入学前

入学前教育として、合格決定後の12月～3月に「英語」「数学」「物理」「化学」について、高校での学習内容の確認・復習を行い基礎学力を強化します。

1年次

出願時に希望したコースで活動する教員が個別担任となります。地域マネジメント工学コースの学生は、希望する工学の専門能力を身に付けるコースを基盤コースとして所属する学科から検討します。

2年次

個別担任との面談を通じ希望する研究内容を絞り込んでいきます。地域マネジメント工学コースの学生は、成績順で希望する基盤コースに配属されます。

3年次・4年次

3年次秋には配属研究室が確定し、卒業研究となる研究活動がスタートします。4年次も卒業研究に継続的に取り組んでいきます。

卒業後

大学院進学

学部教育で培われた力を基盤に、更に高度な専門能力を修得し、社会で活躍する工学系人材を目指す。

就職

身に付けた工学の専門能力を活かし、研究・開発の現場で活躍。



第一次産業振興枠

農業・林業・水産業の振興を通じて社会貢献を目指す人を募集します。日本の第一次産業に関わる様々な課題を、工学の技術とそれらを管理するマネジメント(経営・管理)の視点で解決し、第一次産業の活性化や地域の発展を担う人材を育てます。

日本の食料宝庫と言われる北海道。北見工業大学が位置する北海道オホーツク地域は、国内でも特に農業、林業、水産業が盛んな特徴の有る地域です。身近に広大な第一次産業地帯が広がるキャンパスがあなたの未来を応援します。

オホーツク農林水産工学連携研究推進センター

北見工業大学は第一次産業への貢献を目的とし、北海道の第一次産業が抱える課題を工学的な視点から解決することを目指した「オホーツク農林水産工学連携研究推進センター(愛称:CAFFÉ)」を設置しています。

現在、45人ほどの教員がCAFFÉで活動しています。第一次産業振興枠の学生は、CAFFÉで活動する教員と密接に関わりながら1年次から4年次までの学生生活を過ごします。



北見工業大学での学び センターの教員が教育・研究・学生生活を全面的に支援します。

出願

第一次産業振興枠志願者は、地域マネジメント工学コースの学生となります。専門能力を身に付けることを目的に7つのコースの中から、深く工学の専門能力を養いたい基盤コースを選択します。



合格・入学前

入学前教育として、合格決定後の12月~3月に「英語」「数学」「物理」「化学」について、高校での学習内容の確認・復習を行い基礎学力を強化します。



1年次

オホーツク農林水産工学連携研究推進センターの教員が個別担任となります。面談などを通し希望する研究内容を絞り込みます。

2年次

地域マネジメント工学コースでマネジメント知識を養いながら、並行して、出願時に選択した基盤コースで工学の専門能力を養います。希望する研究室を指導する教員とオホーツク農林水産工学連携研究推進センターで活動する教員が連携して教育支援を行っていきます。

1年次から個別担任が指導している研究室のゼミや研究活動に参加します。

3年次

秋には配属研究室が確定し、卒業研究となる研究活動がスタートします。



大学が連携している第一次産業を担う企業等へのインターンシップを実施します。

4年次

卒業研究に継続的に取り組んでいきます。

卒業研究テーマ例

- AIが切り開く環境にやさしい次世代スマート農業
- UAVや3Dスキャナーを活用した農地や林地の計測技術に関する研究
- アイヌ民族の伝統的食材のアレルギー抑制作用及び抗炎症作用
- オホーツク地域の未利用・低利用水産資源の利活用
- 第一次産業就労者の高齢化社会における第一次産業の維持・発展に向けた課題抽出

大学院進学

学部教育で培われた力を基盤に、更に高度な専門能力を修得し、社会で活躍する工学系人材を目指す。



就職

第一次産業振興を担うリーダーや、第一次産業振興に関係する工学者・技術者として活躍。



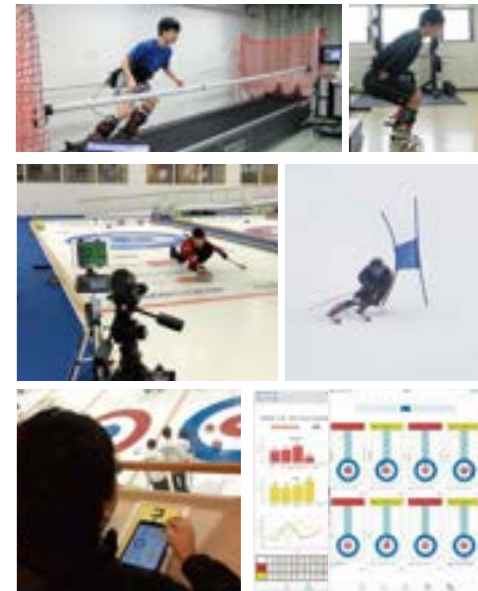
冬季スポーツ枠

冬季スポーツの振興を通じて社会貢献を目指す人を募集します。冬季スポーツは、北海道のような積雪寒冷地では、健康維持・増進や娯楽の鍵です。また冬季スポーツを通じた地域活性化など新たな産業創出にも期待が寄せられています。工学の技術により、自身の競技能力を高め、冬季スポーツ選手の育成、冬季スポーツに関連する研究・開発などで活躍する人材を育てます。

北見工業大学は、2013年に国内唯一の研究設備「Sky Tech Sport Ski & Snowboard Simulator」を導入しました。日本を代表するスキー選手がこの設備を使用し、一緒に研究・開発を進めています。またカーリング競技では、整備された研究環境を持つ北見市のカーリングホールが北見工業大学に隣接しています。北見工業大学は、冬季スポーツの研究に精力的に取り組んでいます。

冬季スポーツ科学研究推進センター

北見工業大学は、2016年に「アルペンスキー競技」と「カーリング競技」を取り上げ、アスリートの競技力向上や積雪寒冷地における生涯スポーツの発展を目指し、冬季スポーツ科学研究推進センター(愛称:WinSS)を設置しました。WinSSでは、本学の「冬季スポーツエリートアカデミー事業」と連携し、対象学生をアスリートとしてスキルアップさせるとともに工学系技術者として知識・技術を習得させ、将来様々な問題に対処し活躍できる人材に育てます。冬季スポーツ枠の学生はWinSSで活動する教員と密接に関わって1年次から4年次までの学生生活を過ごします。



冬季スポーツエリートアカデミー事業

北見工業大学は、工学及びスポーツ科学を通じて自身の競技力向上を目指し、世界水準の選手・指導者、そして研究者として活躍する人材を育成することを目的に「冬季スポーツエリートアカデミー事業」を実施しています。毎年10人ほどがこの事業に参加しています。メンタルトレーニングや体力測定、スポーツ科学に関する輪読会や冬季スポーツに関するゼミの実施、各種測定機器の取り扱い研修などに1年次から取り組んでいます。

北見工業大学での学び センターの教員が教育・研究・学生生活を全面的に支援します。

出願

冬季スポーツ枠志願者は、地域マネジメント工学コースの学生となります。専門能力を身に付けることを目的に7つのコースの中から、深く工学の専門能力を養いたい基盤コースを考慮して学科を選択します。



合格・入学前

入学前教育として、合格決定後の12月~3月に「英語」「数学」「物理」「化学」について、高校での学習内容の確認・復習を行い基礎学力を強化します。



1年次

冬季スポーツ科学研究推進センターで活動する教員が個別担任となります。面談などを通し希望する研究内容を絞りこみ、研究室を決めていきます。またスポーツ科学の輪読会、講習会、測定会など、自身を題材としながら課題設定・解決ができる力を育みます。

2年次

希望する基盤コース・研究室で活動する教員が個別担任となります。コース移行後は、地域マネジメント工学コースでマネジメント知識を養いながら、並行して、基盤コースで工学の専門能力を養います。希望する研究室を指導する教員と冬季スポーツ科学研究推進センターで活動する教員が連携して教育支援を行っていきます。

1年次から個別担任が指導している研究室のゼミや研究活動に参加します。

3年次

秋には配属研究室が確定し、卒業研究となる研究活動がスタートします。



4年次

卒業研究に継続的に取り組んでいきます。

卒業研究テーマ例

- カーリング戦術支援のためのデジタルスコアブックの開発
- AIと対戦データ解析によるカーリング戦術支援システム
- アルペンスキー滑降時におけるターン動作の数値データ化と評価
- アルペンスキーにおける競技用スキーブーツの変形解析
- 地域資源を生かしたスポーツによる地域活性化

大学院進学

学部教育で培われた力を基盤に、更に高度な専門能力を修得し、社会で活躍する工学系人材を目指す。



就職

冬季スポーツ競技者、冬季スポーツ競技指導者、冬季スポーツ振興に関係する研究・開発を担う工学者・技術者として活躍。



冬季スポーツエリートアカデミー事業に参加している学生と一緒に、競技力向上と技術スキル習得を両立させる教育プログラムを受講します。アドバイザーとしてトップスキーヤーが指導する合宿も行われます。

卒業後